

社協評価事業（社協力向上プロジェクト事業）総括評価

社協名	社会福祉法人 柳井市社会福祉協議会
第三者評価日	平成22年1月22日（金）
現時点の社協力	<p>（第三者評価者の視点）「社協の現在の姿の一部」 経済状況が厳しい中、一般事業と経営事業との経費支出が明確にされており、独立性を保っている。 離島の平郡デイサービスセンターについては、行政の指定管理による委託であり、赤字分について行政負担となっていること、地域福祉権利擁護事業については、行政からの補助があり、支援体制があることなど日頃から行政と比較的良好な関係を維持しており、行政としっかり議論、交渉している。 事業においては、市内の在宅福祉サービスのネットワークの中心機関となり、離島の介護保険サービスを担うなど、社協らしさを活かした介護保険サービスを実施している。</p> <p>（柳井市社協側の視点）「強み：PRポイント」 財政の健全性。 地区社協活動の自主性・独立性。 離島における介護保険サービスの行政との協力体制。</p>
3年後にめざす社協像	<p>職員体制の充実を図り、住民、地区社協との関係の強化に努めたい。 問題解決能力の向上をはかり、個別の相談支援の充実により、具体的に存在意義の確認できる事業を実施したい。</p>
社協力向上経過レポート	<p>（平成22年度）</p> <ol style="list-style-type: none"> 理事会とは別に地区社協会長会議を継続実施。 各地区社協同士の連携強化に努めるとともに、各地区社協からの要望により救急キットの配布など複数年度にわたる計画を実施。 やないファミリーサポートセンターを事務局内に移転し、また平郡デイサービスセンターの職員研修等を実施。 実務上ではあるが、職員が相互に業務を理解することができるようになった。また、平郡デイサービスセンターにおいては増築も完了し、同地区における通所介護サービスの質の向上を図ることができた。 地域福祉活動計画評価委員会を構成し、第1回の委員会を開催、各地区社協実施の計画の評価の依頼を行い、平成23年度において評価見直しを行う。平成22年度においては、2地区社協で地域福祉活動計画を策定いただいた。 組織体制の強化に対する財政的支援を柳井市長に要望。 平成23年度における地域福祉活動計画の本格的な見直しのための準備をすることができた。 平成23年度において具体的に担当部局と協議できる基盤ができた。

社協力向上 経過レポート	(平成23年度)
	(平成24年度)